

韓国、養豚場で口蹄疫が発生！！ (2016年1月11日)

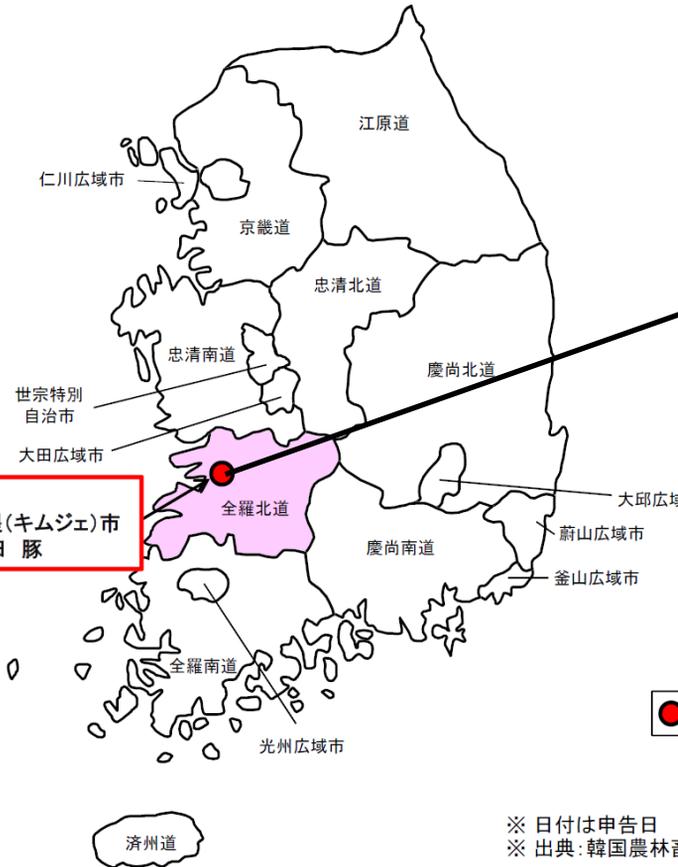
★韓国 全羅北道金堤市の養豚場において、およそ
8カ月振りとなる口蹄疫が発生しました。

・2014年12月から2015年4月までの期間、韓国では185件（牛5件、豚180件）の口蹄疫が発生しています。

※最終発生日は2015年4月28日（忠清南道洪城郡）

2016年1月11日現在（1月12日にOIEへ発生の報告）

韓国における口蹄疫の発生状況 (2016年1月以降)



(疑い)
全羅北道 金堤(キムジェ)市
2016年1月11日 豚

【動物種】豚
【飼育頭数】670頭
【症例数】30頭
【淘汰数】670頭
【血清型】O型
【韓国の対応】

- ・淘汰
- ・施設等の消毒実施
- ・国内における移動制限
- ・患畜は治療対象としない

等

※韓国では畜種ごとのワクチンプログラムを策定し、ワクチン接種を一部義務付けている（2015.3.31 時点）

●: 疑い事例

※ 日付は申告日
※ 出典: 韓国農林畜産食品部 等

★飼養衛生管理基準の再徹底をお願いします。

これから春節（2月8日）を迎えるに当たり、これまで以上に人の往来や物流も盛んになり、口蹄疫ウイルスの国内侵入のリスクはよりいっそう高まります。

★韓国 過去の口蹄疫発生状況

	2002年	2010年			2014年	2014～2015年
		2010年1月 (抱川)	2010年4月 (江華)	2010年/2011年 (安東)		
発生	・5月2日～6月23日 (53日間) ・16件 (牛1、豚15)	・1月2日～ 1月29日 (28日間) ・6件 (牛6)	・4月8日～5月6日 (29日間) ・11件 (牛7、豚4)	・2010年11月28日 ～2011年4月21日 (145日間) ・153件 (牛97、豚55、 山羊1)	・7月23日～ 8月6日 (15日間) ・3件 (豚3)	・2014年12月3日～ 2015年4月28日 (147日間) ・185件 (豚180件、牛5件)
血清型	O型	A型	O型	O型	O型	O型
発生原因	外国人労働者の 管理不足	外国人労働の 管理不足	農場主が口蹄疫 発生地域を旅行	農場主が口蹄疫 発生地域を旅行	ワクチン接種 未実施	調査中
防疫措置 殺処分頭数	牛1,372頭、 豚158,708頭、 山羊・鹿75頭	牛2,905頭、 豚2,953頭、 山羊・鹿98 頭	牛10,858頭、 豚38,274頭、 山羊・鹿742頭	牛150,864頭、 豚3,318,298頭、 山羊・鹿10,800頭	豚2,009頭	豚172,721頭、 牛70頭、鹿7頭
	予防接種未実施	予防接種未実 施	予防接種未実施	予防接種実施 (全国ワクチン)	全国予防接種	全国予防接種
国内終息	※清浄国回復 ：2002年11月29日		※清浄国回復： 2010年9月27日	※ワクチン清浄国 ：2014年5月29日	※ワクチン接 種中 終息宣言はし ていない	※ワクチン接種中、 終息宣言はしてい ない

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

★発生予防の徹底をお願いします！

- ・看板を設置し関係者以外の立入制限してください
- ・農場へ持ち込む物品、人、車の消毒を徹底してください
- ・農場へ立入る者の海外渡航歴を確認してください



★疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は多くの場合、牛や豚などで発熱・食欲不振から始まります。後によだれを流したり、口、蹄、乳房に水ぶくれができるのが主な特徴です。



毎日健康観察し症状を見つけ次第、ただちに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください！

異常がありましたら家畜保健衛生所までご連絡ください。

中央家畜保健衛生所 (西濃総合庁舎内)

〒503-0838 大垣市江崎町422-3

TEL: 0584-73-1111(内線314) FAX: 0584-73-4422

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

